

## ♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

●あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。学籍を置くことになる小学校の校長先生がこちらの趣旨をご理解くださり、私たちが願っていたこと（学籍は置くが、定期的な登校などの必要はない）がその通りになったこと、本当に主に感謝しました。主人の許可を得て、このメールをお送りします。主人は1年くらい前から、稲葉さんが言われている通り、発行されているマガジン、家にあったニュースレターを全部読み、教育委員会や学校とのやりとりで必要となる箇所すべてに付箋を付けたり、文章を抜き出して打ち込み、手紙を書く準備をしていました。

2016年10月末、区長名義で、就学通知書と就学時健康診断通知書が届きました。そこで、私たちの方針と、ホームスクーリングをする上で必要な手続きがあれば教えて下さいという内容で、区長と教育委員会あてに手紙を送りました。

その後11月24日に、区役所の戸籍課学籍担当の方からお手紙が届きました。内容は「ホームスクーリングをすることに伴って区役所で行う手続きはないが、学校教育法上、保護者には子どもを小学校、義務教育学校の前期課程または特別支援学校の小学部に就学させる義務がある（学校教育法第17条1項）ので、通知通り、就学準備を進めてほしい」という内容でした。

そこで私たちは、今度は戸籍課の方に、改めて私たちの方針と、マガジン・白馬セミナーでも教えて頂いた憲法や世界人権宣言などに保障されている、親が子どもに教育を与える権利について伝え、ホームスクーリングをする旨を書き添え、お手紙を出しました。戸籍課の方から小学校の方へ申し送りがなかったようで、今度は小学校の校長先生名義で、12月2日にお手紙が届きました。「就学について

お聞きしたく、至急ご連絡下さい」という内容でした。

そこで、私たちが区長と教育委員会宛に、また戸籍課のご担当者あてに送った手紙と、戸籍課の方から頂いたお手紙をコピーし、また私たちの方針を書き、マガジン43号と共に校長先生にお送りしました。

2学期の終わる12月22日、校長先生からお電話を頂きました。校長先生は、「ご家庭の方針は分かりました。協力できることがあれば何でもおっしゃってください。ただ、学籍は置いて頂きたいと思います。教科書はどうしますか？」という内容でお話しくださいました。これまで学んできた通り、お立場上、「了解しました」などのご発言はありませんでしたが、その口調などから、本当に校長先生はご理解くださったんだなという思いのようなものが伝わってきて、私もうれしく思いました。

12月22日、個人的には、25回目の洗礼記念日だったんです。この日の朝、私は改めて、自分がどういう所から贖われたのか、改めて深く思わされていたんですね。本当に神様、感謝します、という思いでいっぱいでした。そして、クリスチャンホームを築き、娘に福音を毎日語れる。こんな幸せ、本当に神様ありがとうございますという思いで。その日のお昼に、校長先生との上記のやり取りがあって、なんか、本当に神様に感謝、感謝の一日でした。

この一連のやりとりは、稲葉さんが書かれたマガジンやニュースレターの記事、先輩ホームスクーラーの方々のお話しをベースに、主人がその必要を認識し抽出して、二人で行政や学校への手紙の文章を考える、そうした流れの中で導かれたものでした。呼び出しがあったら、チアの出版物すべて持ってお伝えしてこようと準備しつつ進め、安心でした。

主なる神様と稲葉さんはじめチアの皆さん

への感謝が伝われば…と思います！では、また！！感謝を込めて…（神奈川 Aさん）

●マガジンや聖書に付箋を付け、DVDを見返したり我が家の方針等をまとめたりして準備を進めさせていただきました。唯々主に感謝しています。主の御力により圧倒的な勝利を勝ち得ることが出来ました。これから本格的なホームスクーリングが始まる訳です。主が助けと導きを与えて下さるようお祈り頂ければ感謝です。チアの働きも、相変わらず大変だと思いますが、主の助けがありますように祈ります。本年もどうぞ宜しくお願い致します。感謝しつつ。

（神奈川 Aさんの御主人のBさん）